

**2009年3月期(2008年度)
連結決算補足資料**

**NECネットエスアイ株式会社
2009年5月12日**

NEC Networks & System Integration Corporation

〔2008年度決算の概況〕

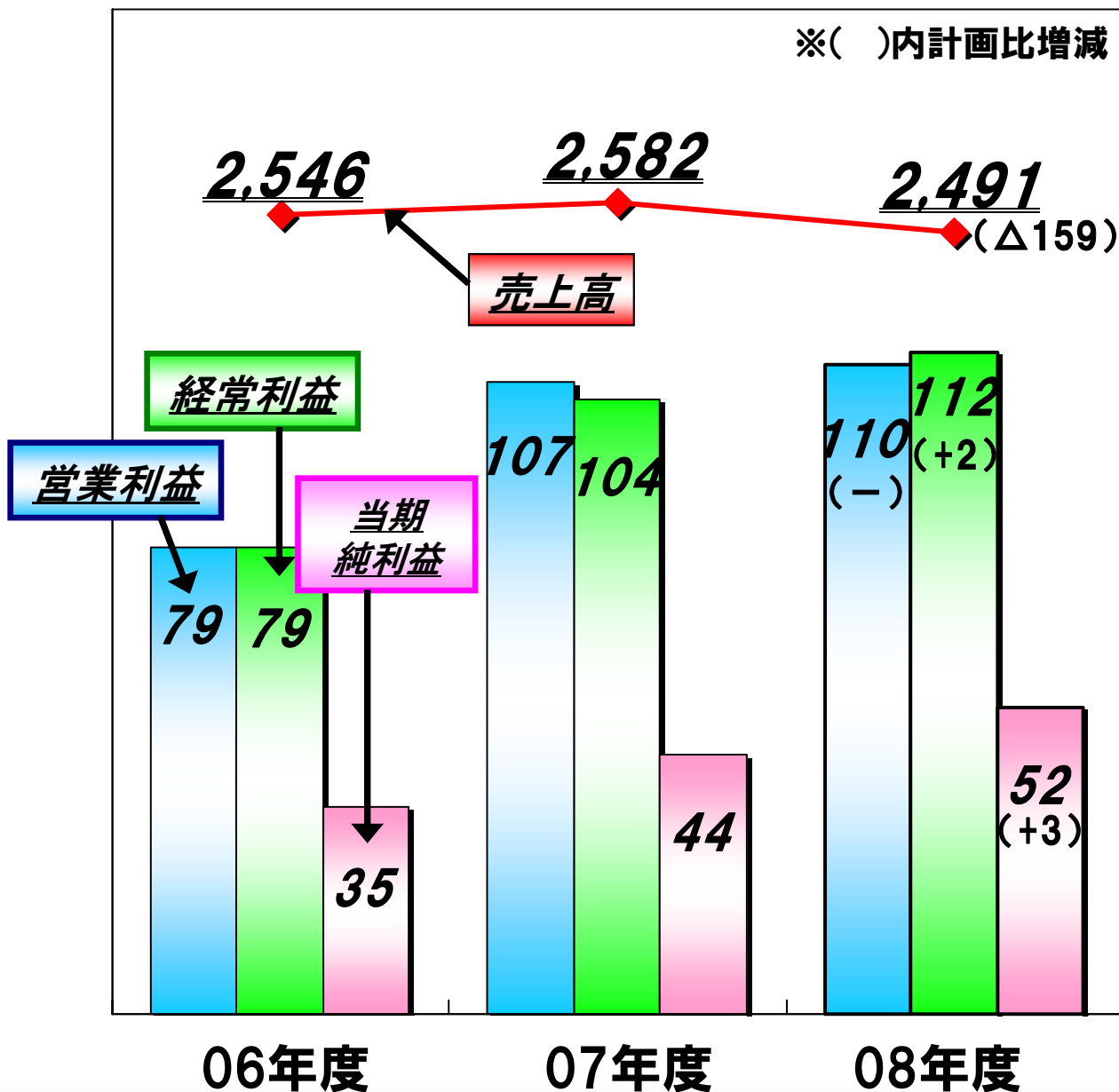
- ・経営改革活動の強化・加速により、**過去最高益を達成**
- ・市場環境悪化により売上は減少

(単位:億円)

	07年度		08年度		増減率
		売上比		売上比	
売上高	2,582	100.0%	2,491	100.0%	△3.5%
売上総利益	356	13.8%	355	14.2%	0.4ポイント改善
営業利益	107	4.2%	110	4.4%	2.1%
経常利益	104	4.0%	112	4.5%	7.6%
当期純利益	44	1.7%	52	2.1%	16.8%
ROE	7.0%	—	7.7%	—	0.7ポイント改善

(単位:億円)

※()内計画比増減



売上高

前期比 : Δ3.5%

営業利益

前期比 : 2.1%

経常利益

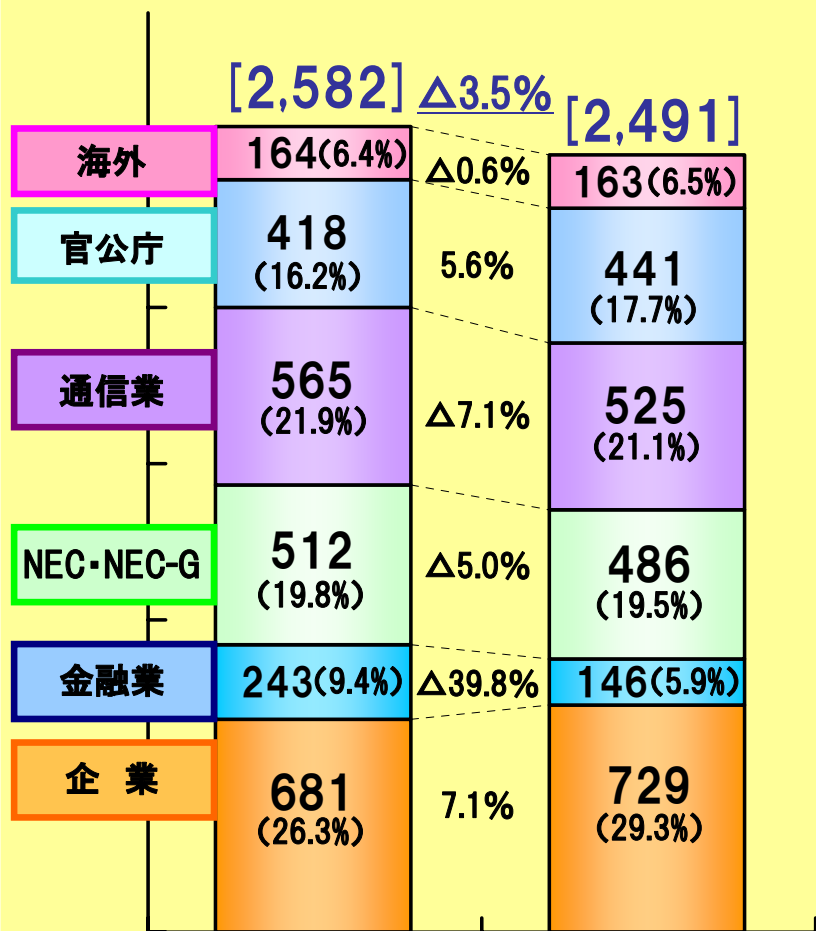
前期比 : 7.6%

当期純利益

前期比 : 16.8%

- ・企業、官公庁(自治体)向けは市場対応力強化で増加
- ・金融、通信業向けは前期大型案件等の影響で減少

マーケット別



(単位:億円)
()内は構成比

07年度

08年度

海外 ・サウジ、アジア向け通信インフラ・プロジェクト継続

官公庁 ・地域情報化、消防・防災ネットワークなどが拡大

通信業 ・NGN関連事業は堅調も、
移動体関連の大型投資一巡により減少

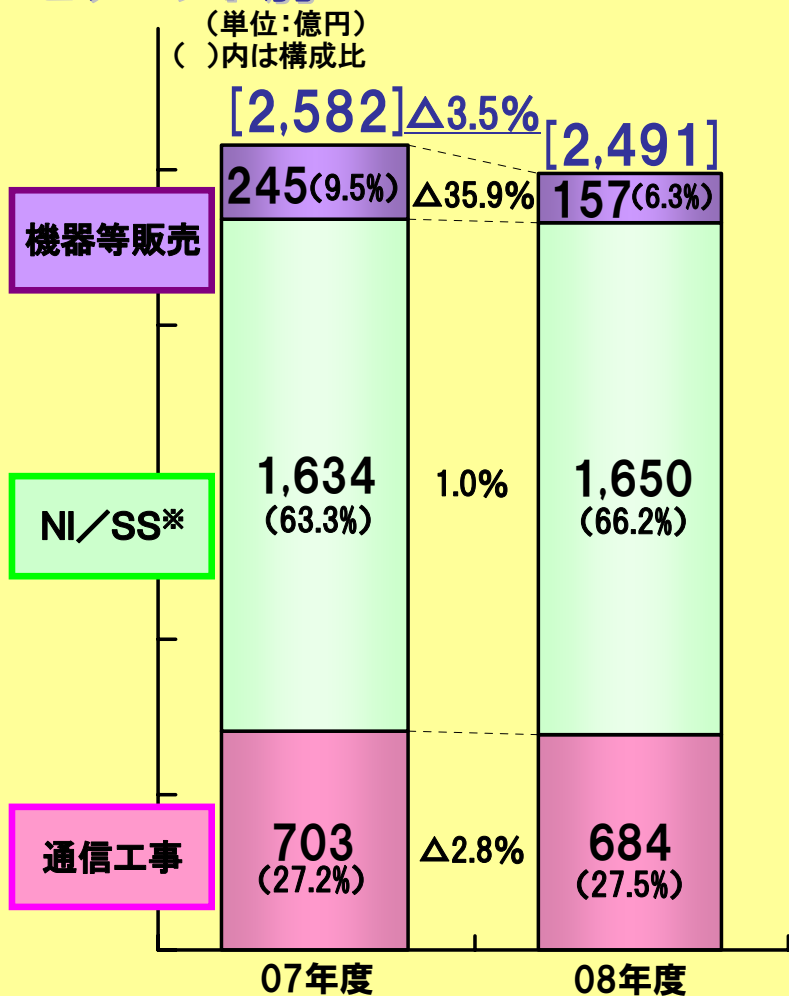
金融 ・環境悪化による投資先送りで大幅減

企業 ・コスト削減等顧客ニーズに合った提案で増加
・放送業向け地デジ関連堅調
・SS事業が安定的に拡大

- ・厳しい環境下で、NI/SS事業、通信工事事業はほぼ前期並みを維持
- ・金融業の投資先送り等により機器等販売事業が大幅減

セグメント別

(単位:億円)
()内は構成比



※ NI/SS:ネットワークインテグレーション/サポート・サービス事業

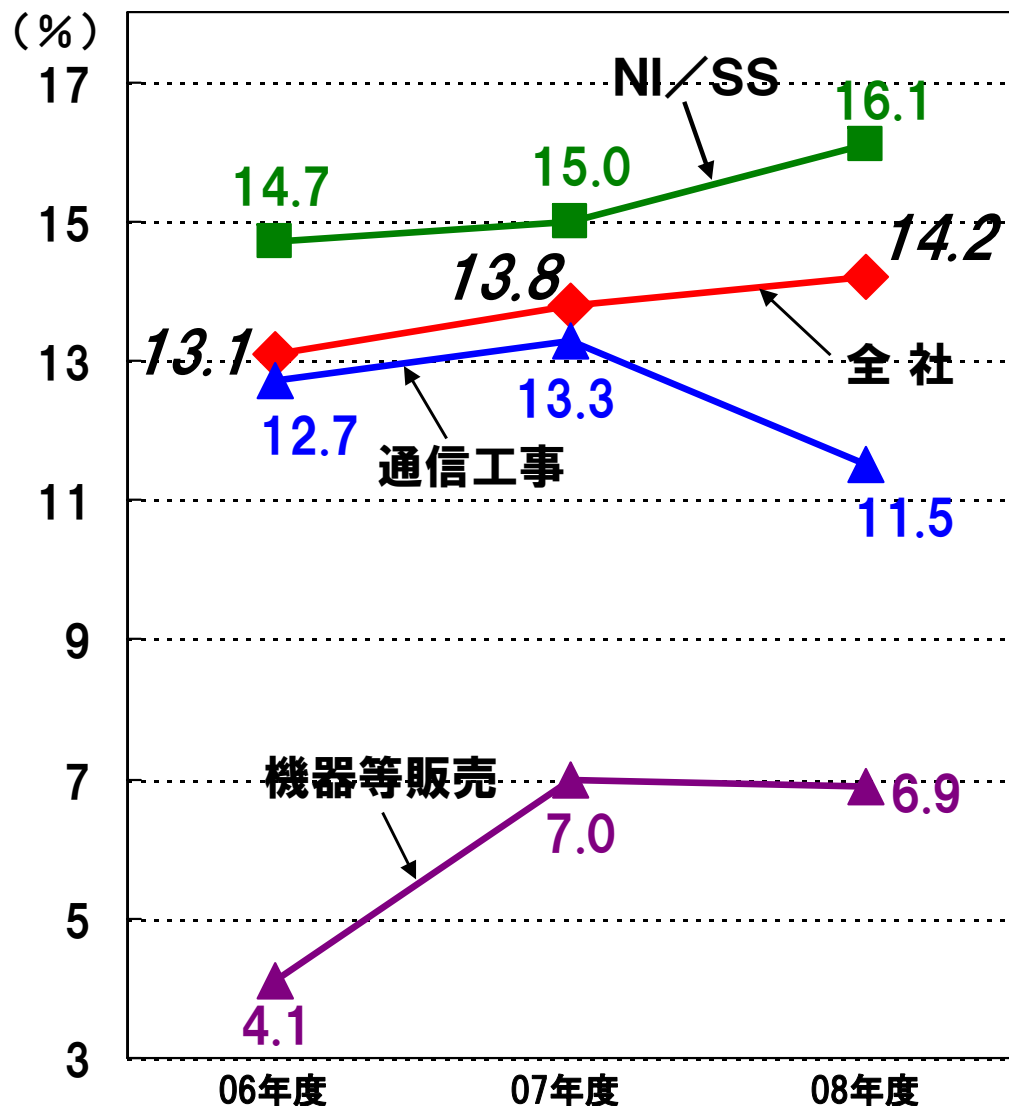
機器販売 ・金融業の投資先送り等で大幅減

NI・SS ・EO※を軸とした顧客密着活動により企業向けがNI、SSともに増加
 ・SSはNGN、地デジ関連でも増加
 ・上記により、移動体高速化、金融業向けの減少をカバー

※ EO:EmpoweredOffice

通信工事 ・自治体、放送向け増加
 →デジタルデバイド解消、地デジ対策投資が活況
 ・移動体工事減少

・AC-I※活動推進による生産効率向上でGP率改善



※AC-I: All Cost & Management Innovation

NI/SS

- ・SIプロセス改革による生産効率改善
- ・SS事業売上増による収益性向上

通信工事

- ・移動体基地局工事悪化
- ・戦略受注案件による収益悪化

<2009年度通期見通し>

◇事業目標及び遂行方針◇

《売上高》 2,300億（前期比△7.7%）

《営業利益》 92億（営業利益率4%）

- ・トップラインが減収となる中で、収益構造強化により営業利益率4%台の維持を目指す

◇重点施策◇

◎中長期的成長に向けた強靱な事業体質の確立

- 抜本的な収益構造改革の実行
- 重点分野におけるトップラインの確保

➤ 抜本的な収益構造改革の実行

- ◇業務プロセス改革、生産プロセス改革、内製化促進等による経営改革活動加速
- ◇マネジメント強化による経費等、内部コストコントロール強化

➤ 重点分野におけるトップラインの確保

- ◇期待領域(自治体マーケット)へリソースシフト
- ◇EmpoweredOfficeを核とした営業・提案強化
- ◇NGN、移動体等、
通信事業者向けサポート・サービス分野の拡大

内部改革活動推進により原価率改善→営業利益率4%台維持

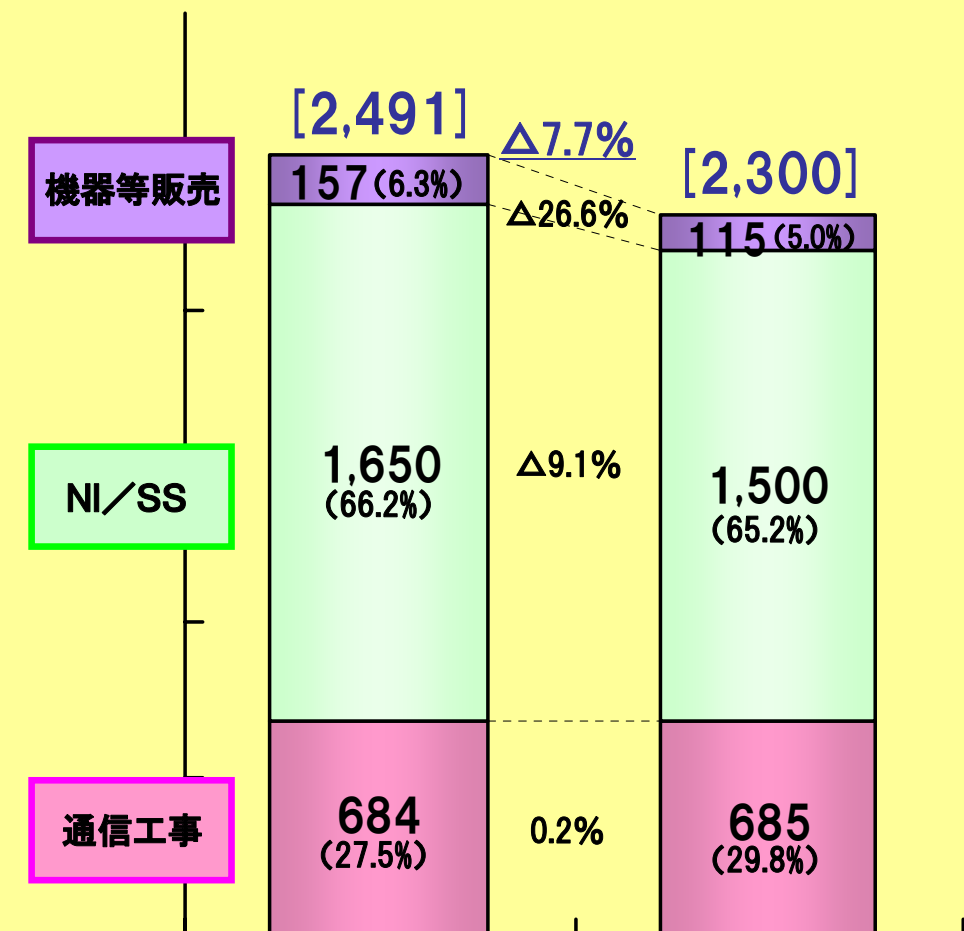
(単位:億円)

	08年度		09年度(予想)		増減率
		売上比		売上比	
売上高	2,491	100.0%	2,300	100.0%	△7.7%
売上総利益	355	14.2%	333	14.5%	0.3ポイント改善
営業利益	110	4.4%	92	4.0%	△16.1%
経常利益	112	4.5%	92	4.0%	△17.9%
当期純利益	51.5	2.1%	51.6	2.2%	0.1%

※予想値は2009年5月12日現在のものです。

- ・事業運営体制強化により通信工事事業、SS事業分野は売上確保
- ・企業向けは環境不透明なるも、予想水準をボトムとして上積みには注力

セグメント別

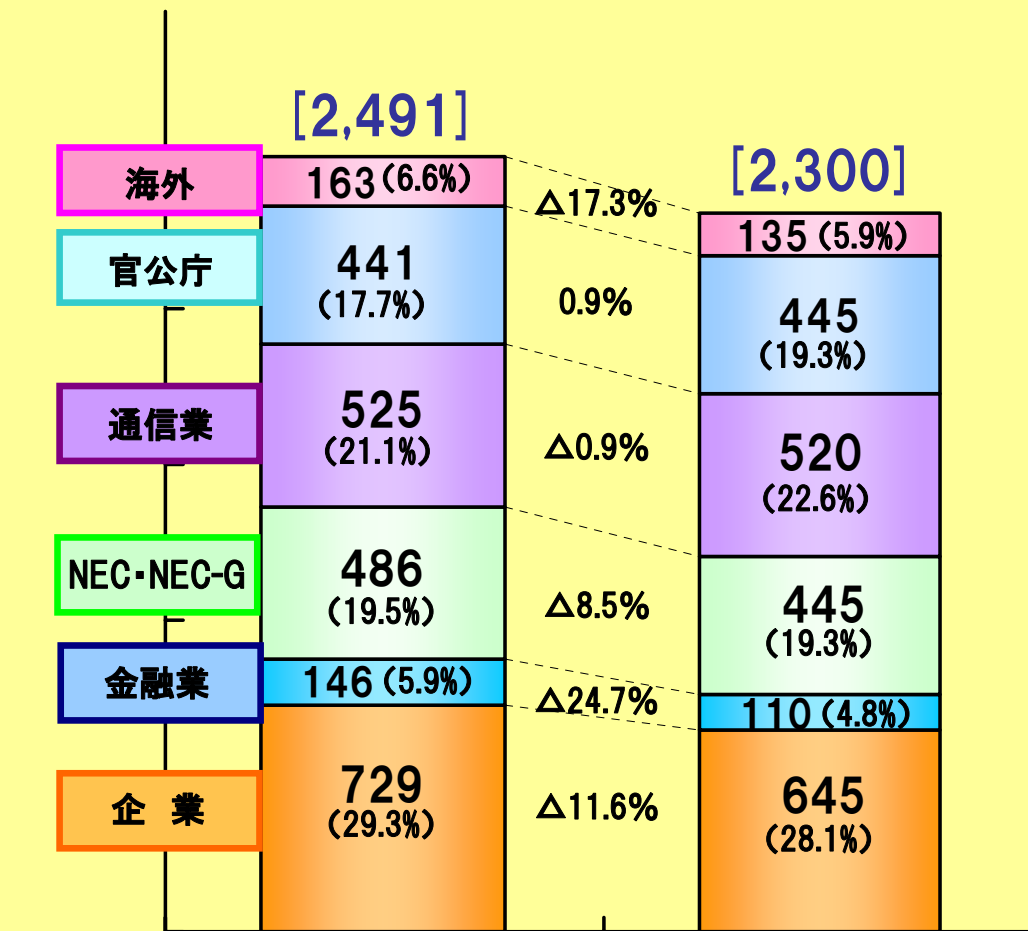


(単位:億円)
()内は構成比

08年度

09年度(予想)

マーケット別



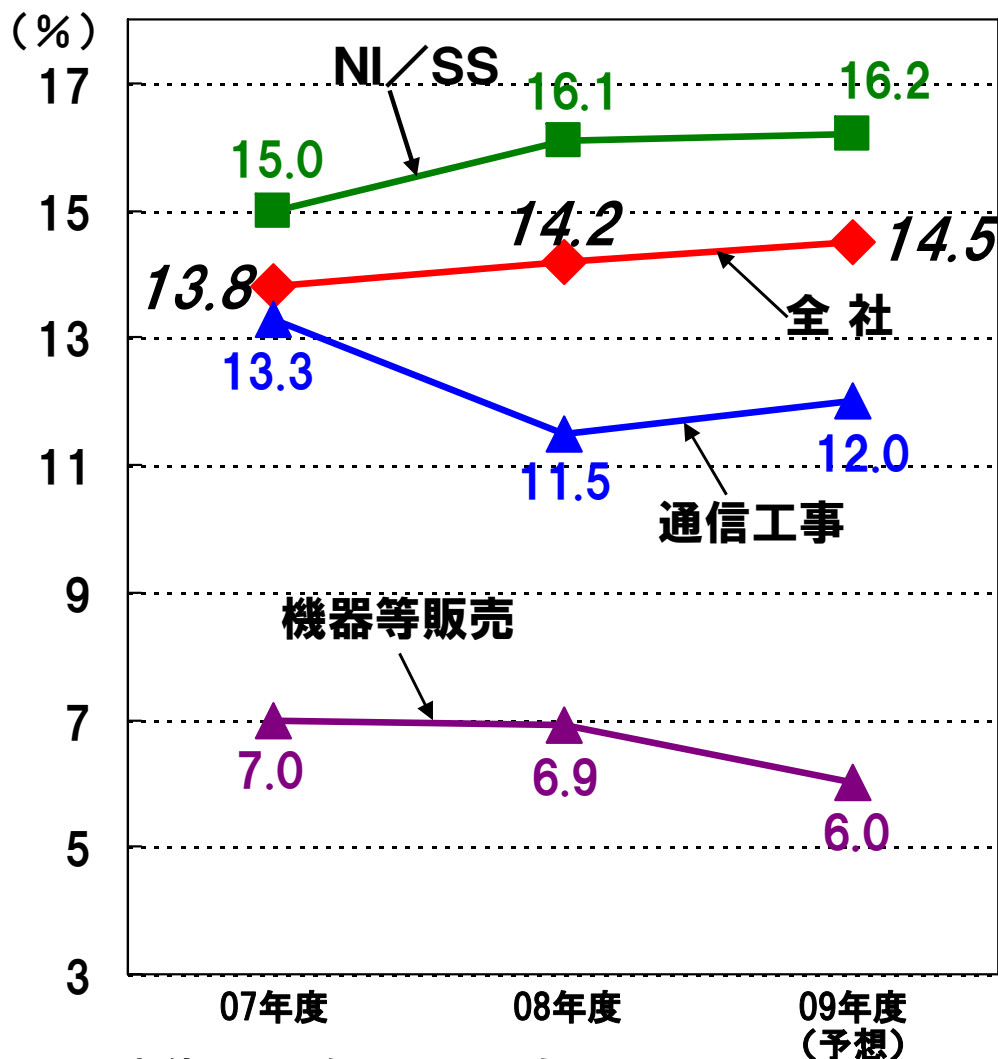
(単位:億円)
()内は構成比

08年度

09年度(予想)

※予想値は2009年5月12日現在のものです。

- ・厳しい環境なるも経営改革活動加速で改善を計画
- ・SS事業拡大、通信工事事業の収益力強化により全社GP率改善



NI/SS

- ・プロセス改革等、経営改革活動加速
- ・SS事業強化・拡大

通信工事

- ・内製化促進等、収益構造改革推進

機器等販売

- ・売価ダウンによる採算性悪化

※予想値は2009年5月12日現在のものです。

2010年3月期の配当予想

	1株あたりの年間配当金(予想)		
		第2四半期末	期末
	円 銭	円 銭	円 銭
2010年3月期	22.00	11.00	11.00

※配当予想は2009年5月12日現在のものです。

[参考]2009年3月期の配当

	1株あたりの年間配当金		
		第2四半期末 (実施済み)	期末
	円 銭	円 銭	円 銭
2009年3月期	22.00	11.00	11.00

※2008年10月30日決算発表時に公表した配当予想と変更ありません

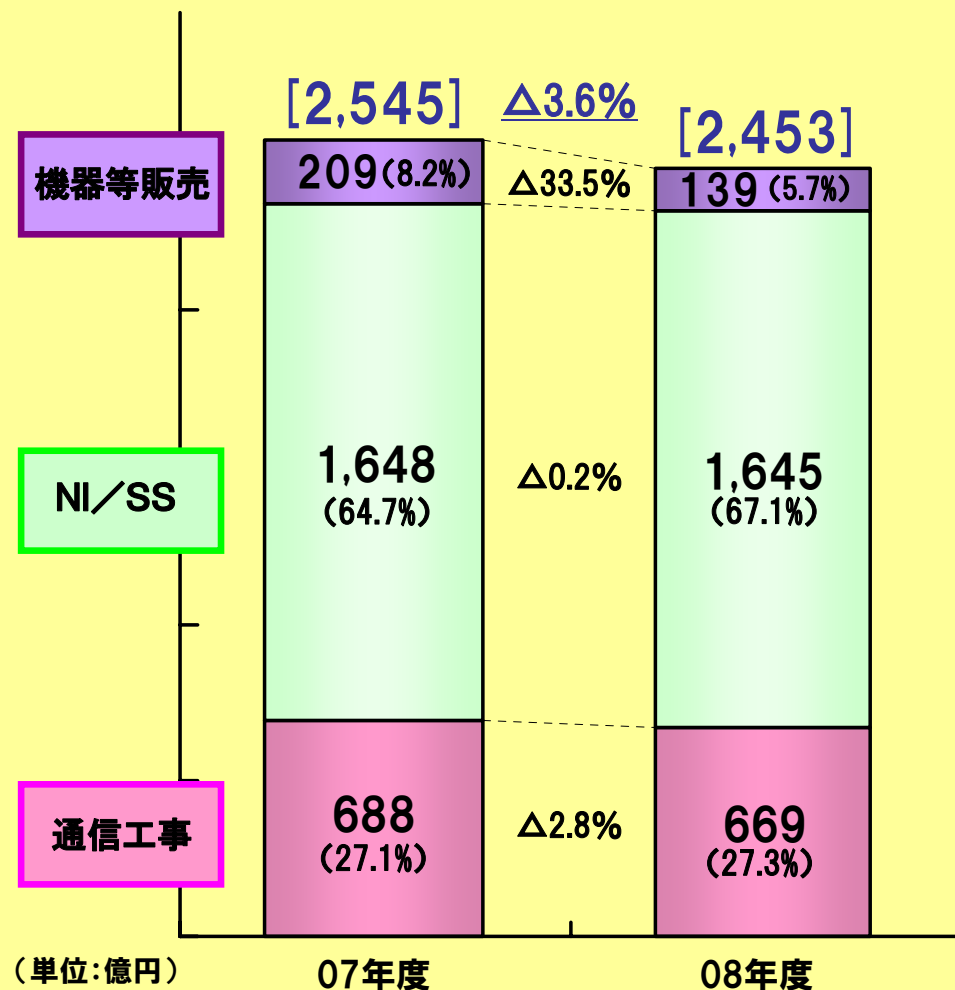
<ご参考資料>

2008年度受注高内訳

参考①

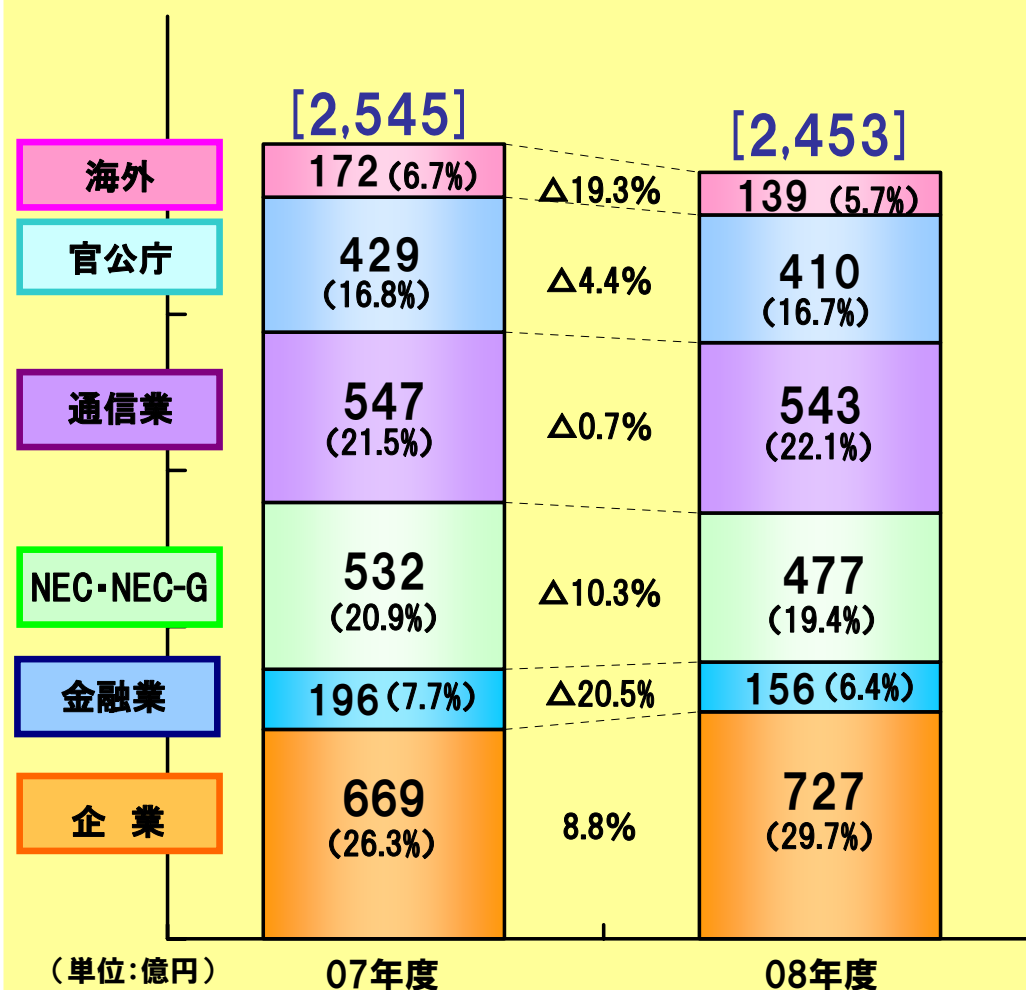
- ・厳しい環境下で、NI・SS事業、通信工事事業はほぼ前期並みを維持
- ・金融業投資先送りで機器等販売事業が大幅減。海外工事も減。

セグメント別



(単位:億円)
()内は構成比

マーケット別



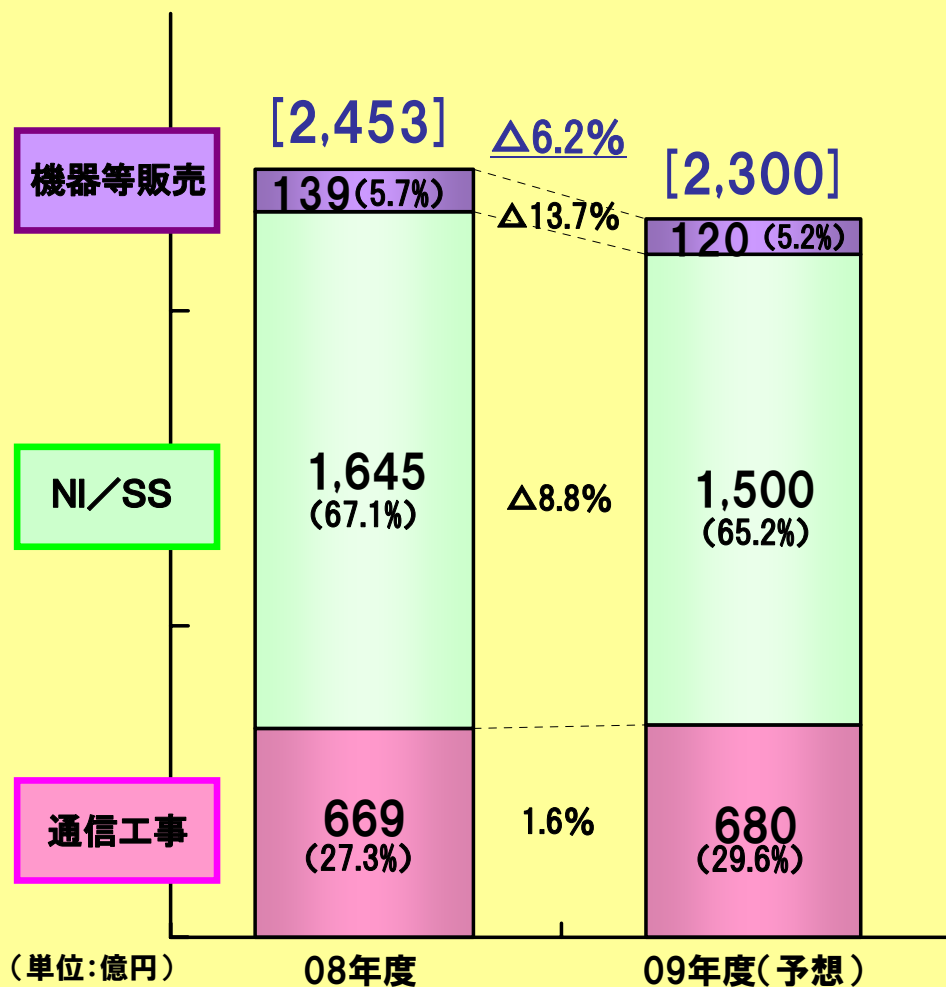
(単位:億円)
()内は構成比

(参考)2009年度受注高予想内訳

参考②

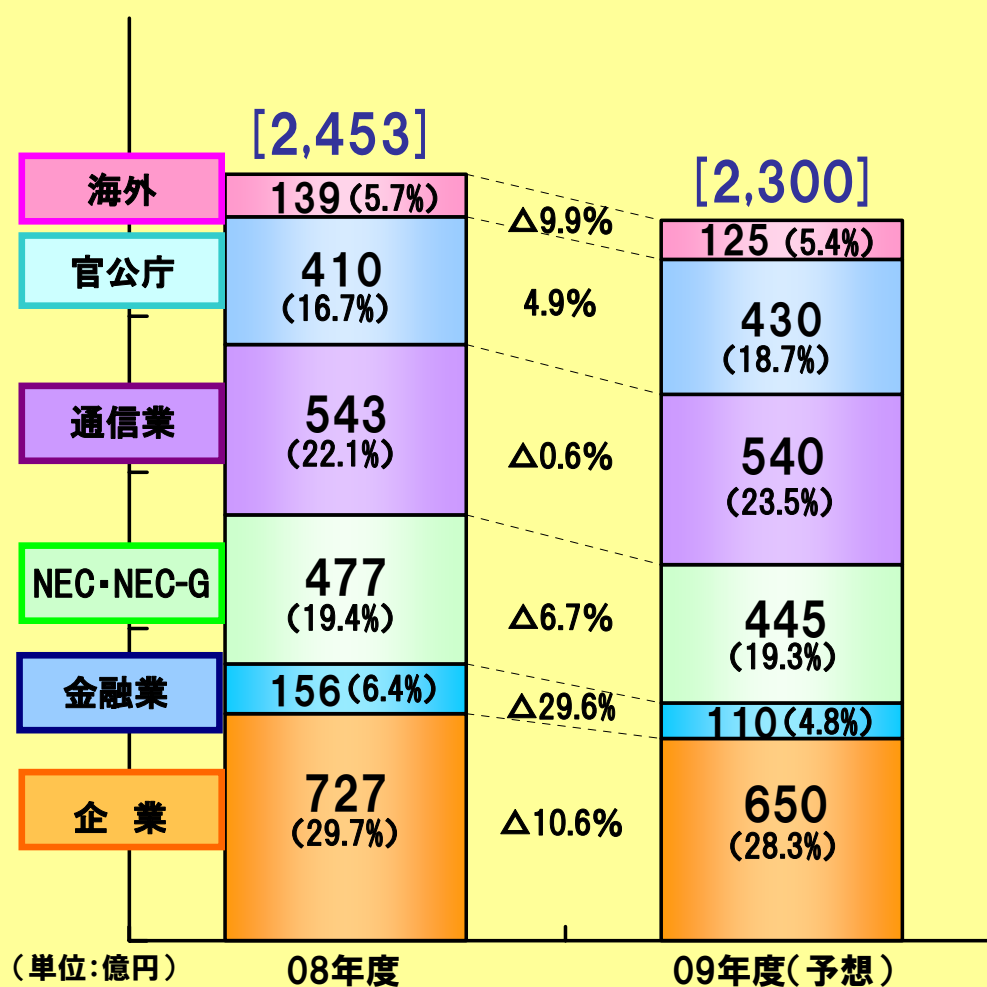
- ・事業運営体制強化により通信工事事業、SS事業分野を強化
- ・企業向けは環境不透明なるも、予想水準をボトムとして上積み に注力

セグメント別



(単位:億円)
()内は構成比

マーケット別



(単位:億円)
()内は構成比

※予想値は2009年5月12日現在のものです。

(参考)2008年度 最終得意先別受注高

参考③

(単位:億円)

	07年度		08年度		比較増減	
		構成比		構成比		増減率
官公庁	429	16.8%	410	16.7%	△19	△4.4%
通信業	547	21.5%	543	22.2%	△4	△0.7%
固定系	67	2.6%	75	3.1%	8	11.7%
電力系	25	1.0%	40	1.6%	14	56.8%
移動体系	304	12.0%	273	11.1%	△31	△10.2%
その他(NTT系など)	150	5.9%	155	6.3%	5	3.3%
NEC・NECグループ	532	20.9%	477	19.4%	△55	△10.3%
金融業	196	7.7%	156	6.4%	△40	△20.5%
流通・サービス業	177	7.0%	177	7.2%	△0	△0.3%
放送業	109	4.3%	133	5.4%	24	21.8%
企業	382	15.0%	417	17.0%	35	9.2%
海外	172	6.7%	139	5.7%	△33	△19.3%
合計	2,545	100.0%	2,453	100.0%	△93	△3.6%

(参考)2008年度 最終得意先別売上高

参考④

(単位:億円)

	07年度		08年度		比較増減	
		構成比		構成比		増減率
官公庁	418	16.2%	441	17.7%	23	5.6%
通信業	565	21.9%	525	21.1%	△40	△7.1%
固定系	73	2.8%	74	3.0%	1	1.4%
電力系	35	1.4%	36	1.4%	1	1.9%
移動体系	310	12.0%	272	10.9%	△38	△12.4%
その他(NTT系など)	147	5.7%	144	5.8%	△3	△2.3%
NEC・NECグループ	512	19.8%	486	19.5%	△26	△5.0%
金融業	243	9.4%	146	5.9%	△97	△39.8%
流通・サービス業	200	7.8%	184	7.4%	△16	△8.2%
放送業	108	4.2%	129	5.2%	21	19.4%
企業	373	14.4%	417	16.7%	44	11.8%
海外	164	6.4%	163	6.6%	△1	△0.6%
合計	2,582	100.0%	2,491	100.0%	△91	△3.5%

本資料についてのご注意

本資料(「2009年3月期(2008年度)連結決算補足資料」)に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないため、リスクや不確定要因を含んでおります。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

NEC

NEC ネットズエスアイ株式会社

NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp/ir/index.html